

ら しん ばん 羅 針 盤

令和 7 年 4 月 22 日
進路通信 No. 3
青梅市立西中学校
第 3 学年 進路担当

進路決定の基本的な考え方 まずは自分を知ることから

3年生のみなさんから「進路はどうやって決めたらいいのか？」という質問がここ最近、寄せられます。そこで、今回の「羅針盤」では進路を決めるにあたって、「どのように考えたらよいのか」ということをまとめてみました。毎年、授業内で3年生を見ていると早い時期から進路を決めている人ほど、夏休みや2学期、3学期の受験対策に余裕ができたという話を聞きます。みなさんもこの「羅針盤」を読んで、じっくりと自分の進路について考えてみてください。

進路決定にあたって

① 自分の希望する職業との関係をよく考える

進路というと高校進学だけと、考えがちになりますが、進路とは高校卒業後の生き方も含めて考えなければなりません。高校や専門学校などその他、上級学校へ進学する目的は、将来仕事をするにあたって必要な知識や技能などを学ぶことにあります。自分がイメージする将来の姿に照らし合わせて、進路を決定することが大切です。

② 自分の適性や個性を考える

進路を決定するにはまず、自分の適性や個性を考えることが重要です。自分が好きなこと・得意なことを生かせる職業に就くための進路など、自分に合った学校を選びましょう。

③ 自分の学力との関係をよく考える

今現在の自分の学力がどの程度なのかということを知ることが大切です。いくら入学したいと思っていても、志望する学校に入学するための必要な学力が備わっていないでしょうとありません。しかし、「今の成績で入れるところならどこでもいい」というような消極的な考えは避けてください。今、無理でもこれから努力することで、人間はいくらでも成長するのです。自分の目標に見合った努力をすることが、みなさんの希望を実現することにつながります。

「どんな上級学校に行けばどのような進路に進みやすいのか」ということを知っておくことも進路決定には大切なことです。高校卒業後の進路は大学や短大、専門学校、就職など様々な道があります。自分の将来を見据えて選択しましょう。

① 4年生大学を目指す

●進学校、特別進学コースを選ぶ

進学指導に力を入れている高校や私立高校において特別進学コースを設けている高校は、大学受験に即したカリキュラムが組まれています。私立では授業の進度は速く、学習内容も難しくなる高校もあります。

●大学付属校を選ぶ

私立高校の中には系列大学に優先的に入学できる高校や一定以上の成績をとると系列大学への入学を許可する高校があります。ただし、学部や学科ごとに優先入学の枠が決められているので、付属校に入ったからといって、しっかり学習をしていなければ、誰でも付属となっている大学に進学できるわけではありませんので、誤解のないようにしましょう。

② 短期大学を目指す

●私立で系列の短大に優先入学できる付属の高校や、普通科の高校に進学するのが一般的です。また、都立・私立を問わず4年制大学や短大への推薦枠を与えられている高校があります。詳しくは各高校が出しているパンフレットを見てみましょう。

③ 専門学校を目指す

●職業によっては高校卒業後に専門学校に進学し、就職に役立つ技術や資格を身につけた方が有利なことがあります。特に服飾(洋服のデザインなど)関係は4年生大学に進学するよりも専門学校に進学した方が実戦力を磨くことができると言われています。調理師(板前、コック、パティシエ)や美容師、理容師などは専門学校で技術を習得すると、比較的容易に国家試験に合格できる職業もあります。

④ 就職について

●中学校卒業後の企業からの求人はほとんどなく、厳しい状況にあると考えて下さい。また、求人があったとしても近隣ではなく、通勤時間が1時間ないし2時間もかかるという職場も多くありますので、親戚の紹介などに頼る縁故就職などの方法が、一般的と言えます。就職を考える場合には先々を見通して考えなければなりません。